

1. 件名：玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和6年1月22日（月） 16時21分～16時34分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官※、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他7名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・玄海原子力発電所における「日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）」への対応について

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	原子力規制庁地震津波審査部門の鈴木ですそれでは、九州電力、玄海原子力発電所における、日本海南西部の甲斐勝はその状況が第1版への対応と、
0:00:17	ということで、対応状況の確認の面談を行いたいと思います。
0:00:22	本日付で九州電力の方から資料構成とかですねスケジュールについて資料をいただいていますので、まずは簡単に九州電力の方から状況をご説明ください。
0:00:37	はい。九州電力の村上です。それでは説明をさせていただきます。資料としましては、本日、
0:00:45	一定の日付で、2枚ものを事前に提示させていただいております。
0:00:49	まず1ページ目ですけれども、こちらに次回提出予定の資料構成とスケジュールを記載してございます。
0:00:57	まず資料についてですが、本資料と、オンバランス記録を掲載したデータ集の2点を考えておりました、本資料につきましては、記載の通りの構成を考えてございます。
0:01:10	具体的には、まず、これまでの経緯をご説明して、ポツの二つ目から四つ目で、昨年の10月13日の会合でのご指摘に対する当社の対応を、
0:01:23	述べさせていただこうと考えてございます。
0:01:26	その後、主指摘に対する当社の対応を踏まえた上での、結局評価への影響ということで、地震動、津波、
0:01:35	の視点でのご説明を考えてございます。次に、スケジュールについてですけれども、昨年末、面談を実施いただいた際に、本件に係る資料提出につきましては、1月中と、
0:01:48	ということでご説明をしておりましたけれども、こちらにつきましては予定通り、今月中に資料を提出させていただきたいと考えてございます。
0:01:57	2ページ目をお願いします。
0:02:00	先ほど資料構成をご説明しましたが、そのうちの、これまでの経緯といった、冒頭のページについて、
0:02:09	現時点で当社の考えております内容をお示ししているものでございます。
0:02:14	こちらのページの趣旨としましては、
0:02:17	本件については、標準応答スペクトルの審査会合とは別の会合で、今後、説明をするという整理になってございますので、そうした経緯がわかるように冒頭での説明を考えているというものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	一つ目として、地震本部より知見が公表された旨、二つ目として昨年の審査会合の概略、
0:02:40	三つ目として、昨年の原子力規制委員会での概略。
0:02:44	が四つ目として、コメントに対する当社の対応を説明するといった旨を記載してございます。
0:02:51	説明は以上でございます。
0:02:57	はい、規制庁鈴木ですはい。ご説明ありがとうございました。
0:03:01	ちょっと今資料構成ということで
0:03:06	資料としては、もともとこれ会合の場をですね、兵藤スペクトルの会合の場を借りて指摘をされていて、その指摘の確認ですねそれは、
0:03:17	当該会合が終わってますので別の場を設けて確認するという事になってるので、
0:03:25	これ当たり前ですけど、本資料の構成っていう中に、裏のページで、3点コメント受領って書いてますけど、そもそもどういうコメントを受領しているのっていうのは、当然書いてくるっていうことでよろしいですかね。
0:03:39	はい。強制力のムラカミです。
0:03:42	ご認識の通り、我々が受けたコメントがどういったものでっていうのは冒頭お示しをさせていただこうと考えてございます。
0:03:51	はい、わかりました。
0:03:52	す。卸近海警護断層の方は連動から、第1ゴトウ体が地質評価と連動。
0:04:01	そのあと地震動津波ということなんですけども、上のところにそのデータ集音波探査記録集ってあるんですけど、
0:04:08	これ第1ゴトウ隊の方は、許可のときに、
0:04:13	審査資料の中で提示してないような音波探査記録も、特に第1ゴトウ山の南側の方ですね。
0:04:20	あるっていうのは伺ってるんですけど。
0:04:23	これをノロシマと書け5断層隊の方とかですねこちらも何か許可の、
0:04:28	審査資料とかに載っていないような音波探査記録というものがあるのか、それとも、一度出してるんだけど解像度とかですね、も含めて改めて整理し直すと。
0:04:40	何か新しいものがあるのかないのかっていうとですね卸警護断層体の方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	これはちょっとどういう状況なんでしょうかまた細かくは、資料出てから確認しますけども、
0:04:53	はい。九州電力の村上です。
0:04:57	今回のデータ集音波探査記録集につきましては、
0:05:01	ご指摘を受けてます第1号藤田井断層体の地質評価に係る部分について準備をしようと考えております。こちらにつきましては、今鈴木さんの、
0:05:11	話の中にもありましたけれども、既許可のときに、提示していないデータを使っ
0:05:18	ての評価をしておりますので、そちらについて準備をしていると。
0:05:24	一方でオノシマ、我々というところは市北東部になりますけれども、こちらについては、
0:05:30	評価から、何か新しいデータを持って、今回、
0:05:37	説明をとすることは考えてございませんので、
0:05:42	基本的にデータ集につきましては、第1号当貸について準備をしているというものでございます。
0:05:48	以上です。
0:05:50	規制庁スズキですはいよくわかりました第1ゴトウ体の方は1オオキ許可の時にも示したのものも含めて全体を、
0:05:59	整理してらってことですかね。
0:06:02	はい。九州電力村上です。ご認識の通りで既許可の時に提示したデータも含めて、フェーズのものと合わせた形で準備をしております。
0:06:14	はいわかりましたそれまではあれですね第1ゴトウ体の実質評価についてってところの、データ集っていう形で出てくると。
0:06:22	はい。お願いしました。
0:06:27	あとは卸金海断層体と結構断層体はコヤマ連動の扱いからということで、
0:06:35	これは具体的にどういう根拠でとかどういう方向でっていうのは資料出てから確認をさせていただくんですけども、
0:06:43	これ地質上の連動とかあと地震動の連動の扱いは、
0:06:48	ありなしっていうのはどういう方向で検討されてるんでしょうか。
0:06:59	はい。九州電力の村上です。
0:07:02	今ご質問いただいた点の、オノシマ限界断層タイト警護断層体、こちらにつきましては、
0:07:09	レンド

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:10	するというケースを、
0:07:14	地震動、地震津波、
0:07:17	の評価の上では連動を考慮するといった形で、
0:07:23	我々としては考えてございます。以上です。
0:07:29	はい。規制庁鈴木ですけれどもはいそうすると、地震動評価津波評価上、
0:07:36	連動させるということで今検討していて何で下のポツの地震動評価への影響津波評価への影響のところで、
0:07:43	具体的に、その方針に沿って検討したものが出てくると。
0:07:48	はい。それぞれ、
0:07:51	何ていうか地震本部の方の、
0:07:56	断層体のいわゆる端部なりトレースの取り方と御社の取り方と、ちょっと空白も若干違うは違うんですけども、
0:08:04	今の感じでお聞きすると、一応その寄与既許可のときの、ていうところの卸金海断層だけ後段総体の、
0:08:13	活断層評価、
0:08:14	そこ、それを前提に連動させてくるっていうようなちょっとイメージで、資料を後で見ますけど、聞き取ったんですけどそういう形ですか。特に何かこの部分は一部活断層評価を図表に置き換えてとかそういうものではないっていう感じ。
0:08:30	はい。九州電力の村上です。鈴木さんがイメージされている通り、
0:08:36	我々の、結局は評価をベースとして、連動を
0:08:41	考慮するという形で考えてございます。
0:08:48	はい、わかりました。
0:08:50	じゃ次第1ゴトウ田井断層体の地質、
0:08:55	強化ということでいわゆる活断層評価、
0:08:59	だと思えますけど、
0:09:01	今日、もともと買い物時に記者な北部区間中部から南部区間と推本評価していて、この中部区間に当たるところについては御社当時ですね、
0:09:13	許可の時には示していないようなデータを持って、
0:09:16	ここには活断層が認定、連続する活断層は認定しませんという話ではあったんですけども、
0:09:24	この辺りのいわゆる論理展開というか結論というかその辺は、この
0:09:30	活断層評価とか、或いはその先の連動っていうところについて、何か変わってくるのか、データが出てくるっちゃうことなんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:40	ここは今どういうそれぞれその活断層評価とあとその連動の扱っていうんですかね。
0:09:45	どういう方向で検討したものが出てくるんでしょうか。
0:09:50	はい。九州電力の村上です。まず活断層評価のところですけども、前回の会合でも一部ご説明をさせていただいてますけれども、改めて、
0:10:02	許可の時に我々がどういう考えで評価をしたのかということをもとにご説明させていただいた上で、今回につきましては、地震本部の知見もありますので、活断層評価を見直すと。
0:10:15	直した活断層評価を踏まえた上で、
0:10:19	ツシマ弾性沖断層群との連動を考慮して、地震動津波評価を行うという形での内容を考えてございます。
0:10:30	以上です。
0:10:35	多賀規制庁すべきです。はい。なるほど。
0:10:38	わかりました。ちょっとそういう検討されてるってことですね。はい。
0:10:42	それによって地震動評価津波評価それぞれの影響ということで、
0:10:46	卸近海断層だとマーケ 5 断層隊の方は、
0:10:50	ある程度概略ですかね、ある程度その試算みたいな形で今年の審査会合のときには、
0:10:58	いただいているんですけども、これ第 1 ゴトウダイトウツシマなんセキ断層群とかがまだちょっと試算中というような状況だったんで口頭で、
0:11:08	相場感をお聞きしたかと思うんですけども、この辺りも、津波評価への影響についてとかこういう中で、いわゆる第 1 ゴトウ田井断層体
0:11:18	と、ツシマ南西沖断層の連動ケースというものの。
0:11:23	いわゆる評価結果っていうんですかね、そういうものは今回の中で説明がある。
0:11:28	ということですかね。資料の中に入ってくる予定だ。
0:11:35	はい。九州電力の村上です。
0:11:38	衛藤オノ嶋金海断層体と敬語断層体の連動、それから、第 1 ゴトウ断層体とツシマ南西沖断層系はいずれの連動形成につきましても、
0:11:48	地震動津波、それぞれ定量的な評価を、今回の資料の中でお示したいというふうに考えてございます。
0:12:02	はい、わかりましたように見えちゃうわかりました。はい。
0:12:07	です。以上が 1 月下旬 1 月末までに出てくると、じゃあ、今最後、社内で最終確認中というか、
0:12:16	状況ですかね。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:19	ありました。いや
0:12:24	この目次だけなので、いずれ資料出てきた内容を確認して、
0:12:29	また、面談なりし、ヒアリングっていった言い方の方がいいのかあれですけど、中身の方は確認させていただいて会合で議論することなんですけども、今うち何か確認しておきたいことある。
0:12:41	よろしいですか。
0:12:44	はい。よろしければ、まず資料提出を受けてですね、提出いただいて、その中身を少し見せていただいて、ある程度見せていただいて、がその場で、後ですね、面談なりヒアリングなりで、
0:12:57	確認して会合で議論するという流れで進めていきたいと思います。
0:13:02	九州電力の方から何か確認ございますでしょうか。
0:13:10	はい。九州電力の村上です。こちらからは特段ございません。以上です。
0:13:17	はい、わかりました。では、以上で面談の方、終了したいと思いますはい。お疲れ様でした。
0:13:24	ありがとうございました。ありがとうございました。そうですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。